

第3次射水市総合計画基本構想【骨子案】

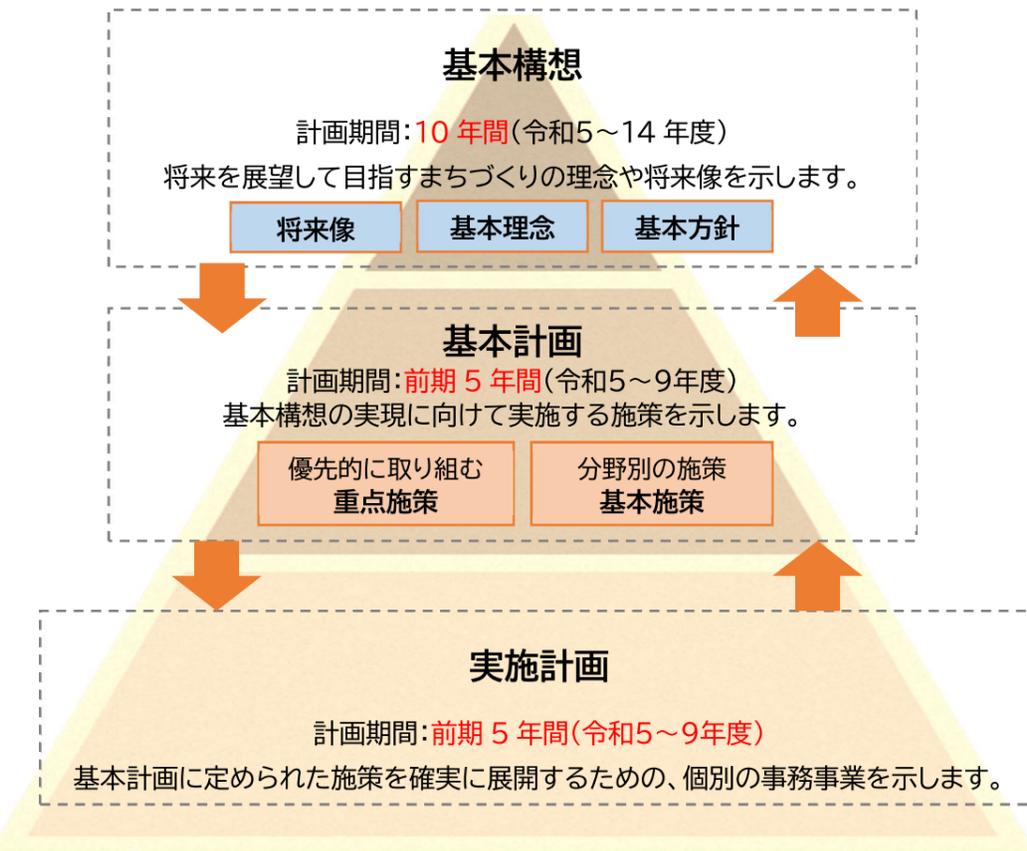
【目次】

1	第3次射水市総合計画の構成（案）	1
2	課題の整理	1
	（1）時代潮流	1
	（2）射水市を取り巻く情勢	1
	（3）市民意識調査	2
	（4）広聴事業	3
	（5）現行計画（第2次射水市総合計画）の評価	4
	（6）「まちづくりの主要課題」の抽出と整理	5
3	第3次射水市総合計画基本構想（たたき台）	6
4	〔参考資料〕第2次射水市総合計画の構成・施策体系	7

1 第3次射水市総合計画の構成（案）

本計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層により構成します。

基本構想	市の特性、魅力、広域的な位置付けを整理し、長期的な展望に立ち、新たな将来像やまちづくりの基本理念とその実現のためのまちづくりの基本方針を示します。
基本計画	基本構想で示した新たな将来像、まちづくりの基本理念及びまちづくりの基本方針を実現するための重点的な取組や各分野の基本施策を示します。
実施計画	基本計画に定められた施策や事業を効率的・計画的に実施するために必要な事業の年次計画を示します。



	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
基本構想	R5~R14(10年間)									
基本計画	前期:R5~R9(5年間)					後期:R10~R14(5年間)				
実施計画	前期:R5~R9(5年間)					後期:R10~R14(5年間)				

2 課題の整理

(1) 時代潮流（第1回審議会資料2「第3次射水市総合計画策定方針」から）

①人口減少・少子高齢化の進行	・急速な人口減少、高齢化の進行は今後も加速すると見込まれ、担い手不足や社会保障費の増大が懸念される。 ・東京一極集中の是正を図るため、国を挙げて地方創生を推進しているが、地方への移住は進んでいない。
②情報通信技術の発展・普及	・5GやICT、IoT等の情報通信技術が発展、普及し、それらを活用したDXが推進されている。 ・情報化による利便性向上、安全・安心の確保等を誰もが享受できるための社会の形成が求められている。
③環境問題への関心の高まり	・国は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）とする政策目標を表明している。 ・東日本大震災における原発事故を契機に、エネルギー政策がゼロベースで見直され、新たな再生可能エネルギーの創出が求められている。 ・国内外で深刻な気象災害が多発しており、今後、更にリスクが高まる。
④防災・減災への対応	・地震や水害、雪害等の自然災害が頻発しており、国土強靱化への取組が推進されている。 ・市民の安全・安心を確保するため、地域全体で見守り支え合うコミュニティの再構築が重要視されている。
⑤協働のまちづくりの担い手不足と地域ニーズの多様化	・地域社会活動の担い手不足や高齢化が進んでいる。 ・地域ニーズが多様化・複雑化しており、多様な主体が担い手として連携し、支え合う地域づくりが求められている。 ・若い世代の転入が地域の力に結びついていない。
⑥地域の価値を高めるまちづくり	・地域の活力を維持するために、地域資源を生かした魅力あるまちづくりを進め、地域の価値を高めていくことが求められている。
⑦女性活躍の推進	・女性が個性や能力を発揮し、様々な分野で活躍する社会の形成が求められている。
⑧多様性を認め合う社会の醸成	・多様な価値観や違いを認め合い、共に生きていくことができるインクルーシブな社会の実現が求められている。
⑨広域的な取組による地方創生の推進	・人口減少への対応や市民サービスの向上など、広域的な視点による地方創生への取組が求められている。

(2) 射水市を取り巻く情勢（第1回審議会資料6「射水市を取り巻く情勢」から）

①自然動態の減少、核家族化の進行及び外国人人口の増加	・人口減少の主な要因として、自然減（出生-死亡）の拡大があげられる。 ・世帯数は増加、特に核家族世帯、ひとり暮らし世帯が増加しており、1世帯当たりの人員が減少している。 ・平成28年から令和2年までの4年間で外国人人口が約1.5倍に増加している。
②産業構造の変化、大規模化・集約化及び担い手不足	・第一次産業従事者が減少する一方で、第三次産業従事者の割合が増加傾向にある。 ・商工業事業所数は減少しているが、販売額、出荷額等は回復傾向、1事業所あたりの従業者数も増加している。 ・農業では個人経営から団体経営への移行により、経営耕地の集積・集約化が進んでいる。 ・漁業では、経営体及び漁業従業者が減少しており、また、漁獲高についても減少傾向にある。
③教育環境の在り方	・少子化に伴い児童数・生徒数が令和6年には令和2年から約7%減少すると見込まれており、学校の在り方を検討する必要がある。
④要支援・要介護認定者数の増加	・平成30年以降、要支援・要介護認定者数及び認定率は上昇傾向にあり、今後、団塊の世代が後期高齢者となるなど介護ニーズが一層高まることが予想される。
⑤空き家数・空き家率の増加	・空き家数が平成23年から平成28年までの5年間で186戸増加し、空き家率も1.5ポイント上昇している。
⑥人口減少に伴う税収減と高齢化に伴う扶助費等の増加	・人口減少に伴う税収減のほか、高齢化による社会保障費関連経費が増加することが見込まれている。
⑦公共施設とインフラ資産の更新費用の負担増	・公共施設（建物）とインフラ資産（道路・橋梁、上下水道等）の平成27年度から40年間の更新費用は、年平均で97.3億円が必要と見込まれており、財政への影響が懸念される。

(3) 市民意識調査 (第1回審議会資料3「市民意識調査結果報告書」から)

■調査結果の概要

項目・分野	結果概要
○定住・移住意向	<p>【市民・LINE 登録者】</p> <p>○『住み続けたい』と回答した人は84.0%。10代では43.6%、20代では65.9%となっている。</p> <p>○住み続けたい理由として市民、LINE登録者ともに「地域になじみや愛着があるから」が最も高い。10代、20代でも同様の傾向。市民の30歳代では「子育てしやすい環境にあるから」が最も高い。</p> <p>○引越したい理由として、市民では「交通の便が悪いから」、LINE登録者では「交通の便が悪いから」と「老後の生活が心配だから」が同ポイントで最も高い。</p> <p>【高等教育機関学生・高校3年生世代】</p> <p>○『住み続けたい(住みたい)』と回答した人は、学生で22.8%、高校3年生世代で70.1%となっている。</p> <p>○住み続けたい理由は、学生では「生活環境がよいから」、高校3年生世代では「地域になじみや愛着があるから」がそれぞれ最も高い。</p> <p>【転入者】</p> <p>○転入者の72.7%が「住み続けるつもり」「できれば住み続けたい」と回答。特に30~40代前半で高い。住み続けたい理由は「持ち家がある」「暮らしやすい」「家族がいる」が上位を占める。</p> <p>【転出者】</p> <p>○転出者の41.1%がUターン意向を示している。戻りたい理由は「射水市に愛着がある」「実家がある・家族と暮らす」「暮らしやすい」が上位を占める。</p> <p>○転出先を選んだ理由は43%が「職場・学校等が近い」、25.9%が「交通の便がよい」と回答している。</p>
○満足度・重要度	<p>【市民】</p> <p>○満足度が高く、重要度も高い施策(地域の強みを伸ばす施策)は、「学校教育」、「下水道」、「消防・救急体制」、「環境保全」、「健康づくり」など。</p> <p>○満足度が低く、重要度が高い施策(力を入れていくべき施策)は、「雪対策」、「公共交通網」、「市民病院の運営」、「市民病院の質」、「新型コロナウイルス感染症対策」など。</p> <p>○前回より満足度が減少した施策は「雪対策」、「公共交通網」、「下水道」など。</p> <p>○前回より重要度が増加した施策は「参画と協働」、「健康づくり」、「環境保全」など。</p>
○本市のイメージ、強み・弱み	<p>【市民・LINE 登録者】</p> <p>○現在のイメージは「子どもたちが健全に育つまち」「自然と共生するまち」「快適で暮らしやすいまち」など。</p> <p>○将来のイメージは「医療と健康のまち」「子どもたちが健全に育つまち」「安全に暮らせるまち」など。</p> <p>【高等教育機関学生・高校3年生世代】</p> <p>○学生、高校3年生世代とも、現在・将来のイメージとして「自然と共生するまち」の割合が高い。</p> <p>○現在と将来のイメージでギャップがあるものでは「産業のまち」「観光のまち」「デジタル化が進んだまち」など。</p> <p>【転入者】</p> <p>○射水市の住みやすい点は「公園や自然環境」「買い物環境」「居住環境」が上位。住みにくい点は「買い物環境」「特にない」「道路・交通環境」が上位を占める。</p>
○若者の就労・Uターン意向	<p>【高等教育機関等学生】</p> <p>○希望する職種は「情報・通信・IT関係」「医療関係」「工業・製造業関係」が上位を占める。希望する地域は「富山県内」36.3%、「特に地域の希望はない」が22.0%、「射水市内」は3.6%と低い。</p> <p>○就職先を選ぶ際に重視することは「職種(やりたい職種、技術が生かせる)」「会社の福利厚生(休暇制度など)」を希望する人の割合が高い。</p> <p>【高校3年生世代】</p> <p>○進学先卒業後のUターンについて「戻ってきたい」が31.0%、「戻ってきたいと思わない」が14.3%、「わからない」が54.8%を占める。</p>
○人口減少・少子高齢化の影響	<p>【市民・LINE 登録者】</p> <p>○人口減少・少子高齢化の影響について、市民、LINE登録者ともに「社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する」「社会経済活動が縮小され、活気がなくなる」「地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる」が上位3項目となっている。</p>

■調査結果からみるまちづくりの課題

<p>①安全・安心で快適に暮らせる生活環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度が低く、重要度が高い「雪対策」「公共交通網」「市民病院の運営等」「新型コロナウイルス感染症対策」等の充実 ・暮らしやすく安心して生活できる環境として「買い物環境」や「道路・交通環境」の整備推進
<p>②自然環境の保全・共生に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の強みを伸ばしている施策として「下水道」「環境保全」の推進 ・若者が望む射水市の将来のイメージである「自然と共生するまち」に向けた取組の推進
<p>③地域に対する愛着の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や高校生が住み続けたい理由、転出者のUターン意向の理由である「地域に対する愛着」の醸成
<p>④魅力あるしごとの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関学生が希望する「情報・通信・IT関係」「医療関係」「工業・製造業関係」に関する職種の創出・充実 ・若者が将来に望むまちの姿は「産業のまち」「デジタル化が進んだまち」など
<p>⑤経済活動や地域活動の担い手の確保と多様な人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりにおける「参画と協働」の重要度の高まり ・社会経済活動や地域活動の担い手を確保するための多様な人材の活用
<p>⑥生涯を通じた健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の強みを伸ばしていく施策としての「健康づくり」の推進 ・社会保障費・医療費の増大の懸念への対応

(4) 広聴事業 (第1回審議会 資料4「広聴事業 結果報告書」から)

①タウンミーティング

関連部会	意見における主なキーワード
未来創造部会	○特徴的な教育による地域活性化 ○市内高等教育機関との連携によるDXの推進 ○誰もが利用しやすい生涯学習施設の運用 ○積極的な女性登用 ○多文化共生に向けた外国人との交流の場の設置 ○若者のみならず老後の移住の場の検討 ○有償ボランティアによる持続可能な地域活動 ○地域の実情にあった市民目線の政策推進 ○地域への若者の参加 ○若手職員のやる気向上と健全な財政運営 ○シティプロモーション
安全安心部会	○子どもたちに寄り添った支援 ○誰一人取り残さないまち ○多様な手段による福祉情報の発信 ○ひきこもり対策 ○災害時の被災者への寄り添った対応 ○森林の保水力の確保 ○SDGs推進のための民間ボランティア体制 ○利用者目線でのバス運行
活力元気部会	○クロスベイ新湊・海王丸パークの活用によるにぎわい創出 ○新湊大橋・海・立山・祭りなど観光資源の活用 ○魅力的な商業施設の誘致 ○移住による空き家の発生への対応

②まちづくりミーティング

関連部会	意見における主なキーワード
未来創造部会	○子どもとの関わり方、発達についての専門的指導・助言 ○医療費現物給付の対象拡大、小児夜間救急の対応 ○部活動の充実、指導者確保 ○不登校児童生徒への学校外施設の紹介 ○地域と学校が連携した芸術文化活動の推進 ○貴重な歴史文化の継承 ○スポーツ施設の整備・充実と有効活用 ○子どもや高齢者の体力づくりの推進 ○誰もが情報通信技術を活用できる未来 ○外国人との共生 ○日本語の習得に向けた支援の充実 ○パートナーシップ制度の導入 ○多様性を認め合う教育、取組の導入 ○誰もが活躍できる就労環境の充実 ○様々な選択肢があるまち ○若い世代、女性が活躍し、輝けるまちの創造 ○地域活動団体等の横の連携促進 ○地域活動の担い手の減少・高齢化への対応 ○空き家を活用した活動拠点の整備 ○多様な主体による持続可能なまちづくり ○射水市の魅力の効果的なSNS発信
安全安心部会	○インクルーシブの視点 ○保健・福祉の専門的な人材の確保 ○ピアサポートを含めた相談支援体制の充実 ○地域活動団体の活性化と福祉との連携 ○生活に特化したバス運行 ○利便性の高い公共交通機関の充実 ○道路の危険箇所の改善 ○メガソーラー規制 ○里海・里地・里山のバランスのとれた発展とSDGsの発信 ○女性の視点を生かした地域防災活動の推進 ○登下校時の安全確保 ○海でのゴミ投棄への対応
活力元気部会	○マイクロツーリズムへの移行 ○企業へのDX推進の支援 ○生産性・収益性の高い農業経営の実現 ○スマート農業・水産業、ブランド化の推進 ○6次産業化に向けた支援 ○新規就農(漁)者、担い手の育成・確保 ○子どもたちが射水で働ける環境づくり ○事業承継、若者の創業支援 ○DXを活用した仕事と子育ての両立支援 ○空き家、空き地の利活用

③まちづくりに対するメール等での意見

関連部会	意見における主なキーワード
未来創造部会	○妊娠・出産の精神的・経済的負担の軽減 ○他の親子との交流の場 ○子育て支援の人材育成 ○多様な学びの場 ○高等教育機関と連携したDXの推進 ○若者が集まる機会や地域活動への参加促進 ○「わがまち意識」の醸成と他市町村との差別化 ○多様性の尊重、居場所づくり ○地域活動プラットフォームの設置 ○射水市の魅力・SDGsを世界に発信 ○廃校・園の活用 ○施設等の健全経営とDX導入等による行政効率化
安全安心部会	○主体的に暮らし、尊厳が保たれる社会の実現 ○生活支援ネットワークの構築 ○社会参加しやすい環境整備 ○健康づくりのための場の提供 ○治水対策の推進 ○自然との共生と均衡のとれた開発 ○エネルギーの地産地消の推進 ○交通の便のよいまちづくり ○ウォークアブルなまちづくり
活力元気部会	○港湾への商業施設の誘致や施設の整備によるにぎわい創出 ○企業誘致による地域活性化と雇用創出 ○空き地・公園等の活用 ○空き家・店舗の有効活用 ○若者のビジネス・チャレンジを応援する機運の醸成

■実施結果からみるまちづくりの課題

①妊娠・出産・子育ての切れ目のない寄り添った支援	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育てにかかる支援体制の強化 ・子どもの発達に関する専門的指導・助言や寄り添った支援の充実 ・多様化する保育ニーズの高まりへの対応
②持続可能な地域活動推進体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手不足への対応 ・地域団体活動の活性化支援 ・若者の地域との関わりでの創出や地域活動への参加促進 ・有償ボランティアによる持続可能な地域活動
③DXの推進による市民の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高等教育機関と連携したDXの推進 ・企業へのDX推進の支援 ・DX導入による産業振興、仕事と子育ての両立の促進
④快適な都市空間の創出と公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の集積とまちなかへの居住促進 ・安心して通行できる都市環境の整備 ・まちづくりと連携し、暮らしや交流を育む公共交通の充実
⑤環境保全と自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全のための地域ぐるみでの推進 ・エネルギーの地産地消 ・森や海を守るSDGsの推進と取組の積極的な発信
⑥ダイバーシティ、インクルージョンの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性を理解し、認め合う教育の推進、パートナーシップ制度の導入 ・女性活躍の推進 ・多文化共生社会の実現に向けた取組の推進
⑦産業の活性化と担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の誘致 ・空き家・空き店舗の有効活用 ・事業承継、新規就農・漁者の育成・確保、若者の創業支援(ベンチャー支援)

(5) 現行計画(第2次射水市総合計画)の評価 (第1回審議会資料5「第2次射水市総合計画 施策評価報告書」から)

■現行計画の課題

分野目標	評価の概要(主な課題の抽出)
第1部 豊かな心を育み 誰もが輝くまち	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズに応じた人材の確保、発達障がい児や医療的ケア児などに対する専門的な支援体制の拡充 ・妊娠期からの切れ目のない包括的な支援に向けた多機関・多職種連携強化 ・児童生徒の減少が見込まれる中、望ましい学校の在り方等の検討 ・学校における感染症対策やICT化、省エネ等に対応した施設整備 ・次代を担う子どもたちの体力向上と運動習慣の確立に向けた取組の推進 ・幅広い分野で女性が活躍できる環境づくり
第2部 健康でみんなが 支え合うまち	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら健康な生活習慣を実現するための支援と地域ぐるみで健康づくりを推進する環境整備 ・高齢者の経験や能力を地域活動に生かし、地域で活躍する機会の充実 ・保健事業と介護予防の一体的な取組などによる効果的な健康づくり、介護予防の推進 ・障がい者が暮らしやすい安全安心な生活環境の確保及び適性や能力に応じた就労の促進 ・新たな感染症などが発生した際の、迅速かつ適切な対応ができる連携体制の強化 ・市民病院における医師確保と施設の長寿命化の推進
第3部 個性に満ちた活気 あふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな射水ブランドの掘り起こしと女性・若者向けの魅力ある情報発信の充実 ・アフターコロナを見据えたインバウンドやサイクリストなど多様なニーズへの対応強化 ・更なる港湾機能の充実やベイエリア未利用地の有効活用 ・交流等を通じた多文化共生意識の醸成や日本語習得支援、多言語による情報提供 ・産学官金の連携による競争力のある商品やサービス開発への支援及びベンチャー支援 ・企業誘致の更なる推進 ・民間企業主体による新たな企業用地の造成を促進するための制度拡充 ・経営者の高齢化、後継者不足への対応 ・営農組織の法人化、高収益作物、6次産業化及びバイオマス事業の推進 ・スマート農業の推進 ・カーボンニュートラル実現への貢献、持続的な森林経営、森林資源の利活用による地域振興 ・漁港機能施設の整備促進 ・魚価向上や環境保全・資源維持のための取組の推進、人材確保・育成やスマート水産業の導入 ・働く意欲のある誰もがそれぞれの個性や能力を生かし、いきいきと働ける雇用環境の創造
第4部 潤いのある安心 して暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となって環境保全や環境美化に取り組む体制整備 ・ごみの減量・分別意識の向上と事業者における資源化の促進 ・効率的で利便性の高い持続可能な公共交通網の構築と利用促進 ・物流拠点へのより一層のアクセス強化や交通網の形成、交通弱者にやさしい安全・安心な歩行空間の確保 ・新型コロナウイルス感染症の影響等から地方移住への関心の高まりに応じた移住・定住施策の推進 ・上下水道の長寿命化対策や耐震化、安定的な事業運営に向けた計画的な組織・人材育成の推進 ・浸水被害の軽減を図る雨水調整池や雨水管渠等の雨水対策施設の整備 ・地域防災計画や国土強靱化地域計画に定められた施策の計画的な推進 ・消防団員の加入促進及び処遇改善、入団促進のPRの強化 ・自主防災組織の体制強化など地域における防災力の向上 ・大規模災害に備えた避難支援体制の強化 ・高齢者の事故防止対策の強化や各種犯罪の被害防止に向けた広報・啓発 ・除雪の担い手確保や消雪施設の適切な維持・更新、DX推進による効率的・効果的な雪対策の推進
第5部 みんなで創る 開かれたまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの担い手の確保や後継者の育成、DX推進による自治会活動の活性化、運営事務の効率化 ・地域課題の解決に向けた市及び高等教育機関等との連携体制の構築 ・DXを活用したスマート窓口の実現による、さらなる市民の利便性向上や職員の事務負担の軽減 ・公共施設の長寿命化及び効率的かつ適正な運営・維持管理と安全性の向上、民間事業者等との連携・活用

■評価結果からみるまちづくりの課題

①子育て支援の充実と次代を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの包括的・専門的支援の充実と保育ニーズに応じた体制の整備 ・時代の変化に対応した学校教育の推進
②健康づくりの推進と医療体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な健康づくりと地域ぐるみでの健康づくり・介護予防環境の整備 ・高齢者が活躍できる社会づくり ・新型コロナウイルス感染症対策の推進 ・市民病院の医師の確保及び機能強化、施設の長寿命化
③産業振興と雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・射水ブランド、高付加価値化の推進と効果的な情報発信 ・産学官金連携による産業振興、創業、新たなチャレンジへの支援 ・スマート農業・林業・漁業の導入支援、生産性の高い産業の推進 ・安定的な経営への支援、事業承継支援
④ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な交流を通じた多文化共生社会の形成 ・女性活躍の推進
⑤地域ぐるみで安全・安心を守る体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者の避難行動支援体制の強化 ・地域防災・減災、国土強靱化に向けた取組の推進 ・除雪体制の強化、消雪施設の整備、DX導入など雪対策の充実 ・交通事故防止、防犯対策の充実
⑥快適で魅力的な社会基盤・生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、上下水道など社会基盤の適切な維持管理と長寿命化 ・魅力的な住環境の整備、空き家の活用 ・効率的で利便性の高い公共交通網の構築
⑦環境保全・循環型社会に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となった環境保全・美化活動の推進 ・カーボンニュートラル実現に向けた循環型社会の形成 ・ごみ減量化・再資源化の促進
⑧地域課題の解決に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの担い手確保と自治会活動の活性化・効率化 ・高等教育機関及び市内高等学校との連携によるまちづくりの推進
⑨「新しい日常」に対応した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた多様なニーズへの対応 ・地方移住への関心の高まりを踏まえた移住・定住促進

(6) 「まちづくりの主要課題」の抽出と整理

射水市を取り巻く環境の変化

時代潮流
① 人口減少・少子高齢化の進行
② 情報通信技術の発展・普及
③ 環境問題への関心の高まり
④ 防災・減災への対応
⑤ 協働のまちづくりの担い手不足と地域ニーズの多様化
⑥ 地域の価値を高めるまちづくり
⑦ 女性活躍の推進
⑧ 多様性を認め合う社会の醸成
⑨ 広域的な取組による地方創生の推進

射水市を取り巻く情勢

① 自然動態の減少、核家族化の進行及び外国人人口の増加
② 産業構造の変化、大規模化・集約化及び担い手不足
③ 教育環境の在り方
④ 要支援・要介護認定者数の増加
⑤ 空き家数・空き家率の増加
⑥ 人口減少に伴う税収減と高齢化に伴う扶助費等の増加
⑦ 公共施設とインフラ資産の更新費用の負担増

【共通の課題】

- ・ 地方創生の推進（人口減少の克服と地域活性化）
- ・ DXの推進
- ・ SDGsを踏まえた施策の推進
- ・ アフターコロナを見据えた取組の推進
- ・ インクルーシブなまちづくり

まちづくりの主要課題

主要課題
課題1 子育て支援・学校教育の充実 ○希望する結婚・出産への支援の充実 ○妊娠期からの切れ目のない寄り添った支援の充実 ○個性・能力を育む特色ある教育の推進
課題2 多様性を認め合い、誰もが活躍する社会の形成 ○女性活躍の推進 ○多文化共生社会、違いを認め合う社会の実現 ○多様な人材が活躍する社会の形成
課題3 情報化・デジタル化への対応 ○DXを活用した市民の利便性の向上 ○デジタルデバイド（情報格差）の解消 ○情報モラル・セキュリティ対応
課題4 健康づくりの推進と医療体制の強化 ○介護予防の推進による元気な高齢者づくり ○各種健診・検診の受診促進 ○主体的な健康づくり活動の推進 ○地域医療体制の強化と市民病院の充実 ○新型コロナウイルス感染症対策
課題5 地域で支え合う体制の構築 ○市民協働の発展による持続可能なまちづくり ○地域で見守り支え合う新しいコミュニティのかたち ○多様な主体との連携強化 ○福祉サービス・相談支援体制の強化
課題6 環境問題への対応と自然との共生 ○カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進 ○資源循環型社会の形成 ○自然環境の保全と活用
課題7 安全・安心なまちづくり ○防災・減災、国土強靱化の推進 ○防犯・交通安全対策の推進 ○新型コロナウイルス感染症対策
課題8 産業振興と雇用創出 ○新たな産業の創出 ○企業誘致の推進と創業支援 ○雇用の創出と事業承継支援
課題9 地域資源を生かしたにぎわいの創出 ○観光資源を活用した交流人口の拡大 ○関係人口の創出
課題10 利便性の高い都市基盤・生活環境の整備 ○効率的で利便性の高い公共交通網の整備 ○魅力的な住環境の整備、空き家の有効活用 ○道路・上下水道等インフラの適正管理と長寿命化
課題11 健全な財政基盤の堅持 ○行財政改革の推進 ○公共施設マネジメントの推進

市民意識調査、広聴事業から抽出される課題

市民意識調査からみる課題
① 安全・安心で快適に暮らせる生活環境の整備
② 自然環境の保全・共生に向けた取組の推進
③ 地域に対する愛着の醸成
④ 魅力あるしごとの創出
⑤ 経済活動や地域活動の担い手の確保と多様な人材の活用
⑥ 生涯を通じた健康づくり

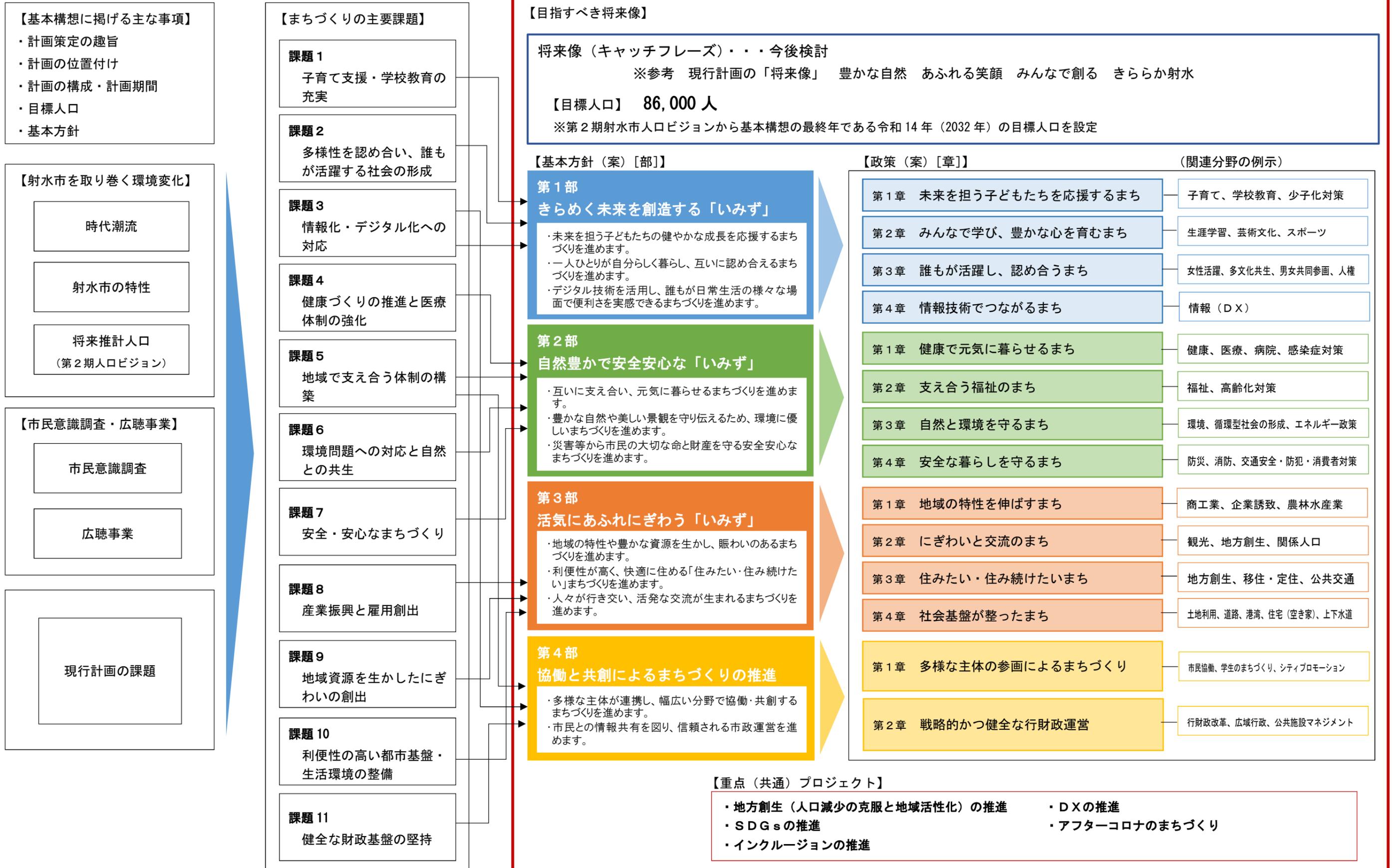
広聴事業からみる課題

① 妊娠・出産・子育ての切れ目のない寄り添った支援
② 持続可能な地域活動推進体制の構築
③ DXの推進による市民の利便性の向上
④ 快適な都市空間の創出と公共交通の充実
⑤ 環境保全と自然との共生
⑥ ダイバーシティ、インクルージョンの推進
⑦ 産業の活性化と担い手の育成

現行計画の評価から抽出される課題

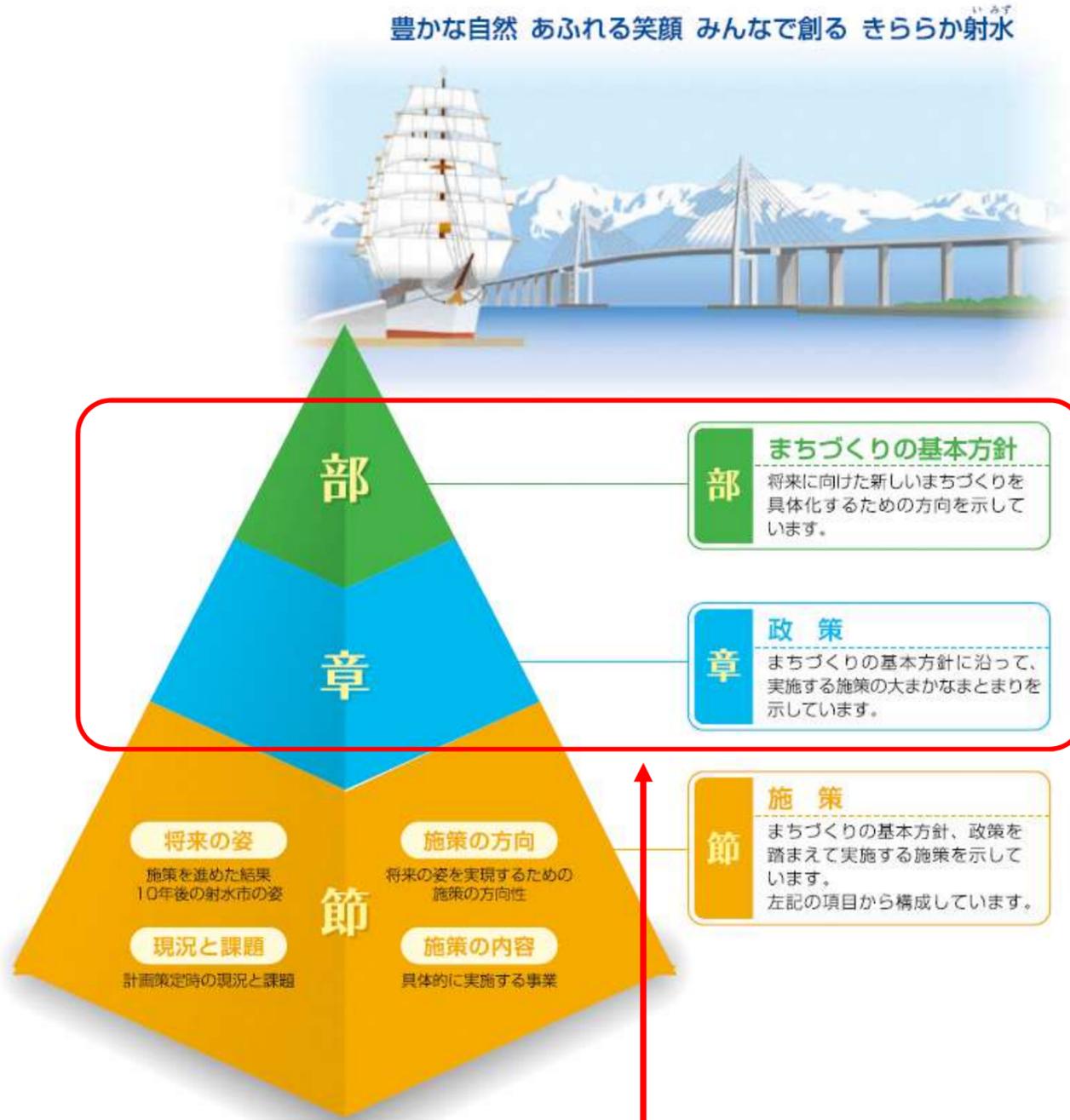
現行計画の評価からみる課題
① 子育て支援の充実と次代を担う人材の育成
② 健康づくりの推進と医療体制の強化
③ 産業振興と雇用の創出
④ ダイバーシティの推進
⑤ 地域ぐるみで安全・安心を守る体制づくり
⑥ 快適で魅力的な社会基盤・生活環境の整備
⑦ 環境保全・循環型社会に向けた取組の推進
⑧ 地域課題の解決に向けた取組の推進
⑨ 「新しい日常」に対応した取組の推進

3 第3次射水市総合計画基本構想（たたき台）



4 [参考資料] 第2次射水市総合計画の構成・施策体系

■第2次射水市総合計画の構成



今回の審議会では、計画における「基本方針」(部)及び「政策」(章)について、専門部会で議論するための「たたき台」としての枠組みについて協議をお願いします。

このたたき台を基に今後専門部会で主要施策の検討を行い、専門部会の議論・意見を踏まえて、委員の皆さんで最終的な計画の枠組みを決定していただきます。

■第2次射水市総合計画の施策体系

部	章(政策)	節(施策)
第1部 豊かな心を育み 誰もが輝くまち	第1章 元気な子どもを育むまちづくり	第1節 子ども・子育て支援の推進 第2節 学校教育の充実 第3節 教育施設の充実 第4節 家庭教育・地域における教育の充実
	第2章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり	第1節 生涯学習活動の推進 第2節 芸術・文化の継承と創造 第3節 スポーツ・レクリエーションの推進
	第3章 みんなが思いやりあるまちづくり	第1節 男女共同参画の推進 第2節 人権尊重社会の推進
第2部 健康でみんなが 支え合うまち	第1章 健康で元気なまちづくり	第1節 健康づくりの推進 第2節 高齢社会対策の推進
	第2章 やさしさで支え合うまちづくり	第1節 地域福祉の推進 第2節 障がい者福祉の充実 第3節 社会保険の充実
	第3章 医療体制の整ったまちづくり	第1節 医療体制の充実 第2節 市民病院における質の高い医療の提供 第3節 発展性のある市民病院の運営
第3部 個性に満ちた 活気あふれるまち	第1章 個性を生かしたまちづくり	第1節 射水ブランドの確立と発信 第2節 観光の振興 第3節 港湾機能の整備促進とみなとまちづくり 第4節 国内外交流の推進
	第2章 活気ある商工業が栄えるまちづくり	第1節 新産業の育成 第2節 企業誘致の推進 第3節 商工業の振興
	第3章 豊かな資源を生かしたまちづくり	第1節 農業の振興 第2節 森林・林業の振興 第3節 水産業・水産加工業の振興
	第4章 誰もがいきいきと働くまちづくり	第1節 雇用対策の充実 第2節 職場環境の向上
第4部 潤いのある 安心して暮らせるまち	第1章 自然と共に生きるまちづくり	第1節 環境保全の推進 第2節 循環型社会の構築
	第2章 快適で利便性の高いまちづくり	第1節 特性を生かした土地利用の推進 第2節 公共交通網の整備 第3節 地域をつなぐ道路網の整備
	第3章 快適で住みよいまちづくり	第1節 住宅環境の充実 第2節 生活環境の充実 第3節 上水道の充実 第4節 下水道の整備
	第4章 安心して暮らせるまちづくり	第1節 防災・減災対策の推進 第2節 消防・救急体制の充実 第3節 交通安全・防犯対策の推進 第4節 消費者対策の推進 第5節 雪対策の推進
第5部 みんなで創る 開かれたまち	第1章 市民が主役のまちづくり	第1節 参画と協働によるまちづくりの促進 第2節 参画を促進する体制づくりの推進 第3節 学生が参画するまちづくりの推進
	第2章 むだのない開かれたまちづくり	第1節 信頼される市政の推進 第2節 健全な行政運営の推進 第3節 情報化の推進